

令和 7 年度第 2 回長野県環境審議会発言要旨
(令和 7 年 8 月 1 日開催)

県環境審議会に「長野県廃棄物処理計画（第 6 期）の策定について」を諮問し、資源循環推進課から、策定の趣旨・項目、主な見直しポイント（たたき台）、第 5 期計画の数値目標に対する現状等を説明。

項 目	発 言 要 旨	備 考
市町村の計画との関係について	県の計画と市町村の計画が補完しあうようなイメージになるとよいと思う。 例えば、災害廃棄物の処理に関して、具体的な事項が記載されている市町村の計画と広域連携や支援など県の役割等について、住み分けを意識して策定できればよいと思う。	
第 6 期計画の数値目標について	第 6 期計画の数値目標については、傾向等その根拠となる資料を示しながら、説明・設定していくことが必要と思われる。	
	ごみ減量やリサイクル等の取組と数値目標との関連性が見えるようになるとういと思われる。	
第 5 期計画の進捗状況について	数値目標に関する現状については、もう少し細かく前年度との比較が見えるようにするなど、工夫いただきたい。	
一般廃棄物の最終処分について	食器等リサイクルが可能なものも、一部市町村では最終処分場に埋め立てられると聞いたことがある。	
店頭回収されたプラスチック等の処理について	店頭回収した透明プラスチックを焼却しているという話を聞いたことがあるが、確認が必要ではないか。	
リサイクルの取組について	トレー等を再利用するため、スーパーの敷地内で障がいのある人と障がいのない人が一緒に仕分けしているという事例がある。	
食品ロス削減の取組について	食品ロス削減推進サポーターの育成・活用について、計画に記載してほしい。	